

平成28年度
食品製造業におけるHACCPの導入状況実態調査
－ HACCPを導入済みの企業は29%、導入途中の企業は9% －

・HACCP（ハサップ：Hazard Analysis and Critical Control Point）とは

原料受入れから最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入等の危害を予測（危害要因分析：Hazard Analysis）したうえで、危害の防止につながる特に重要な工程（重要管理点：Critical Control Point、例えば加熱・殺菌、金属探知機による異物の検出等の工程）を継続的に監視・記録する工程管理のシステムをいう。

・調査実施期間 平成29年2月28日～3月24日

【調査結果の概要】

1. 食品製造業におけるHACCPの導入状況（平成28年10月1日現在）

- ・既にHACCPを導入済みの企業（「すべての工場」又は「一部の工場」で導入）は28.6%で、平成27年度調査(23.1%)に比べ5.5ポイント上昇した。
- ・また、「導入途中」と「導入を検討」を含めた企業の割合は、6割となった（図1-1）。
- ・これらの結果は、昨年、厚生労働省で行われた「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会」において、HACCPの制度化について議論されたこと等の影響が考えられる。
- ・販売金額規模別にみると、「導入済み」の企業は、年間の販売金額が100億円以上では8割以上である一方、1億円未満の企業は2割以下となっており、企業規模により差が見られる（図1-2、1-3）。

図1-1 HACCPの導入状況（全体）

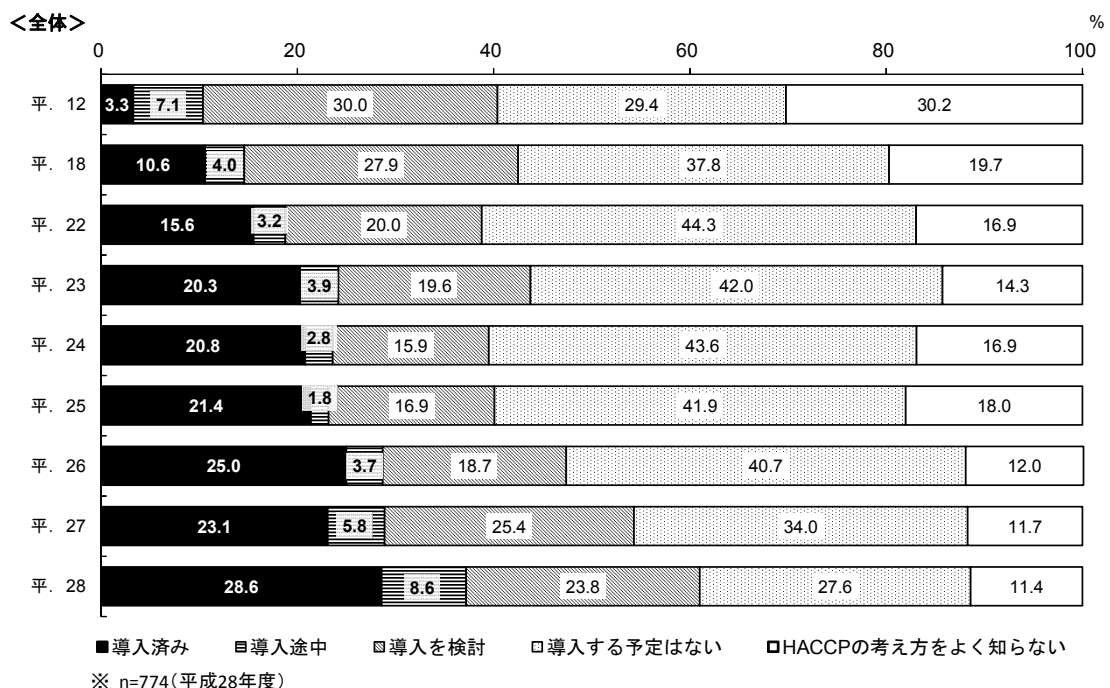


図 1 - 2 HACCPの導入状況（販売金額規模別）

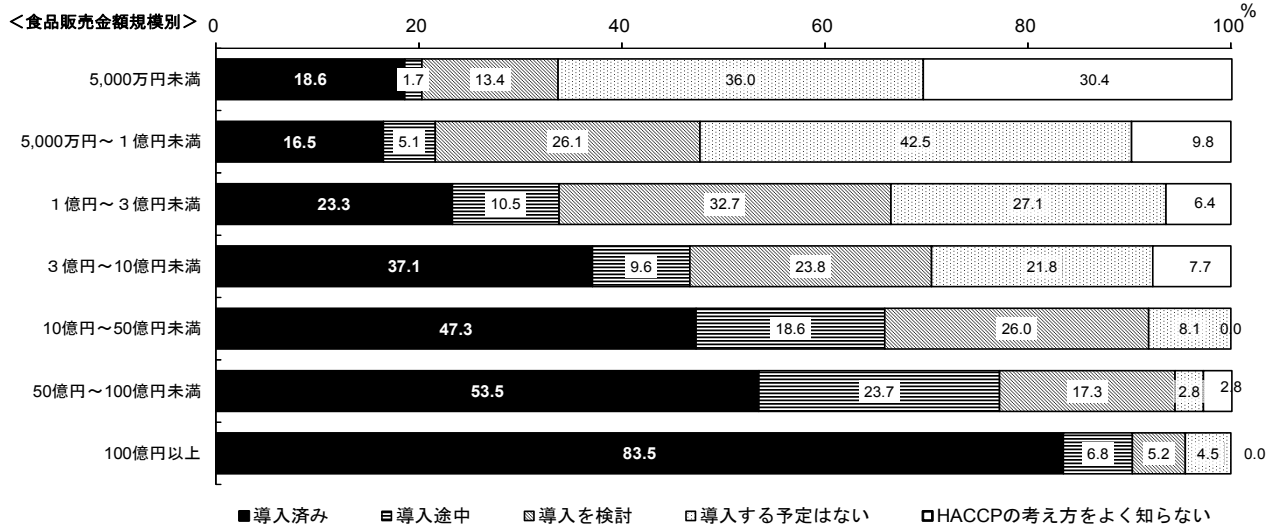


図 1 - 3 a HACCPの導入状況（販売金額規模 1億円未満・年度別）

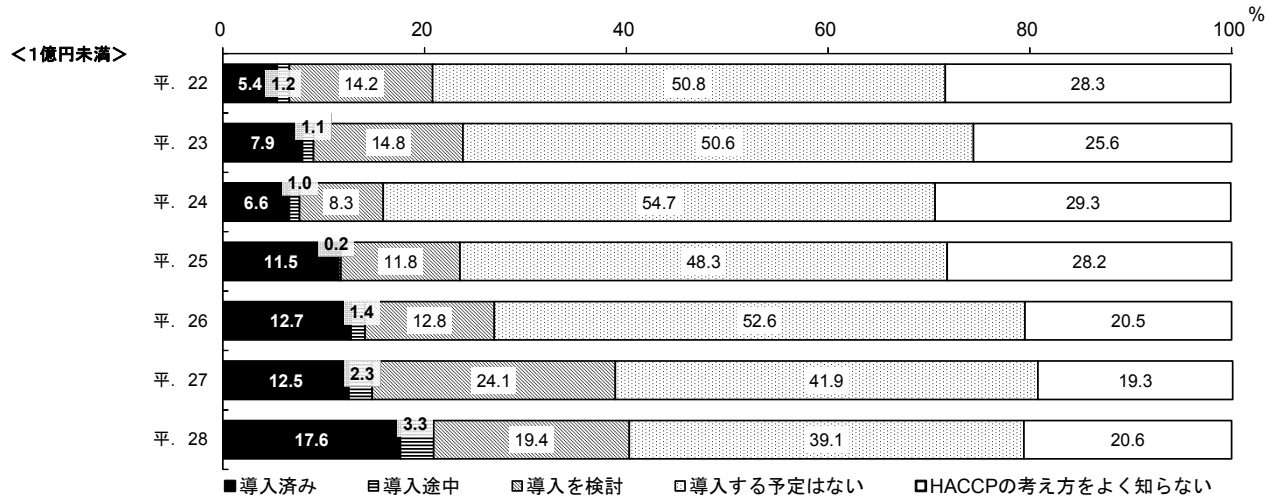


図 1 - 3 b HACCPの導入状況（販売金額規模 1億～50億円・年度別）

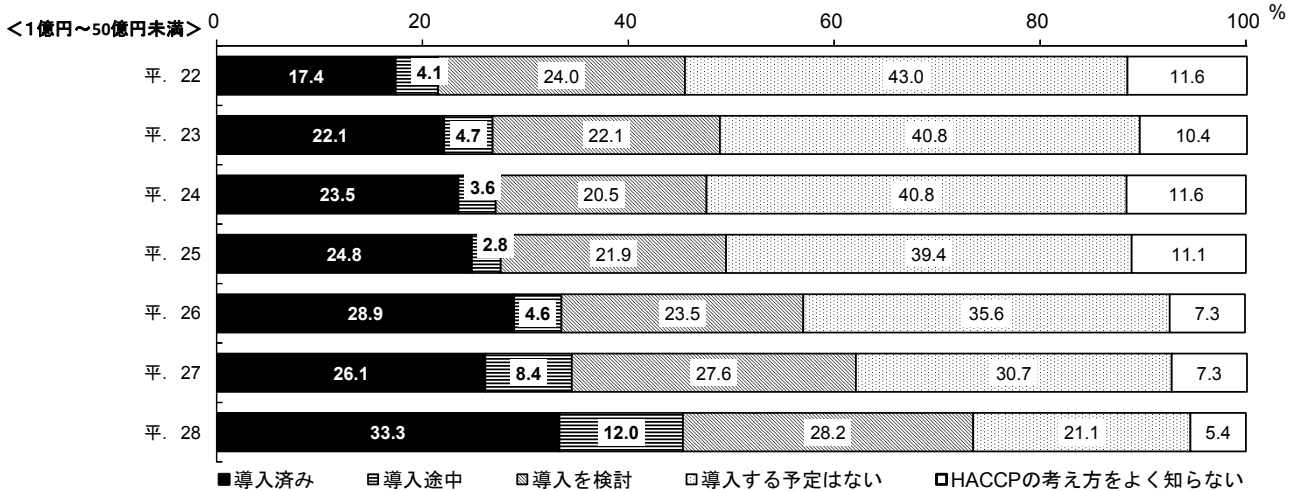
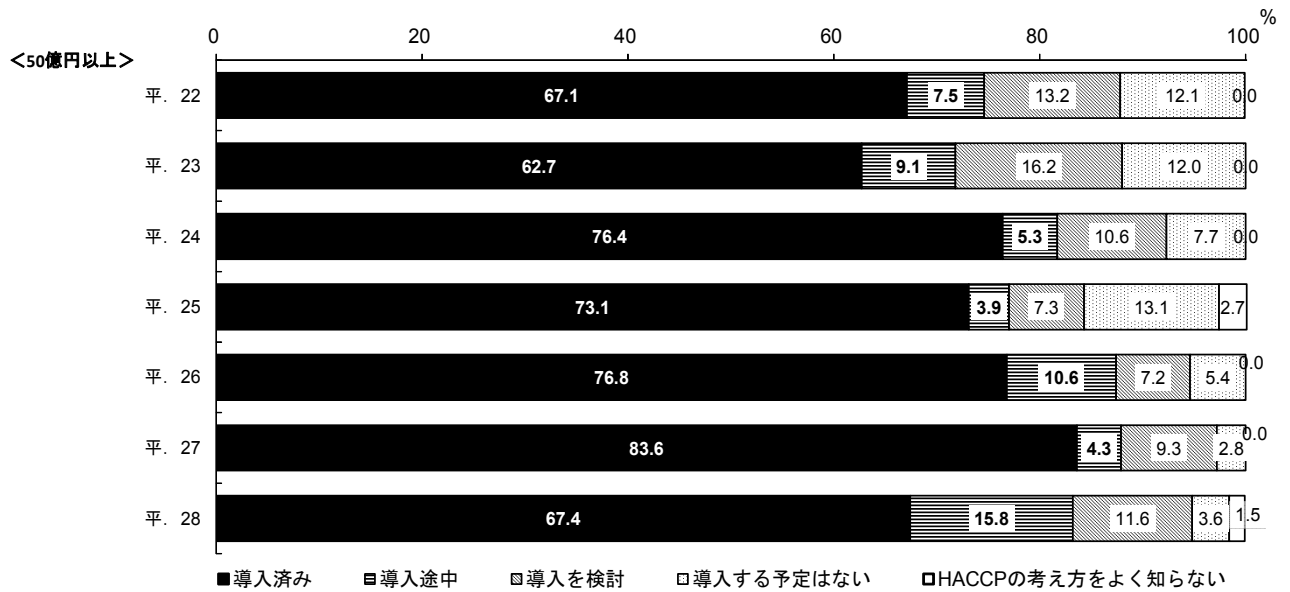
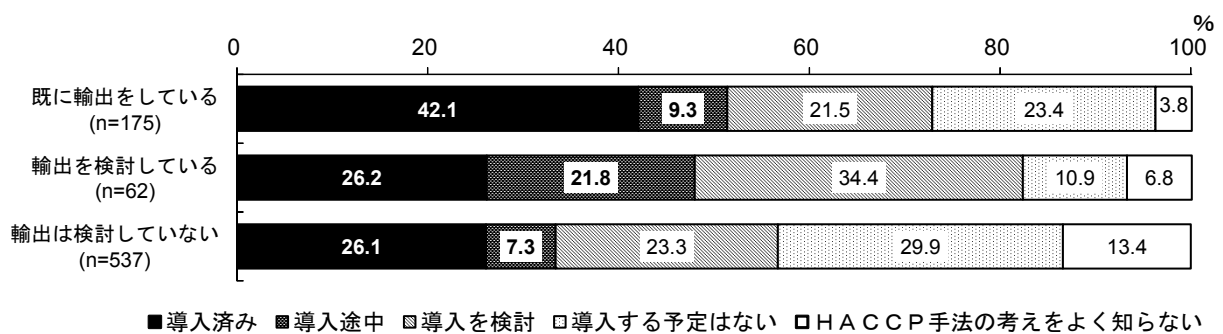


図1-3c HACCPの導入状況（販売金額規模50億円以上・年度別）



・また、輸出の状況別にみると、「既に輸出をしている」と回答した者の42.1%が「導入済み」と回答しており、「輸出を検討している」と回答した者の26.2%、「輸出は検討していない」と回答した者の26.1%よりも高かった（図1-4）。

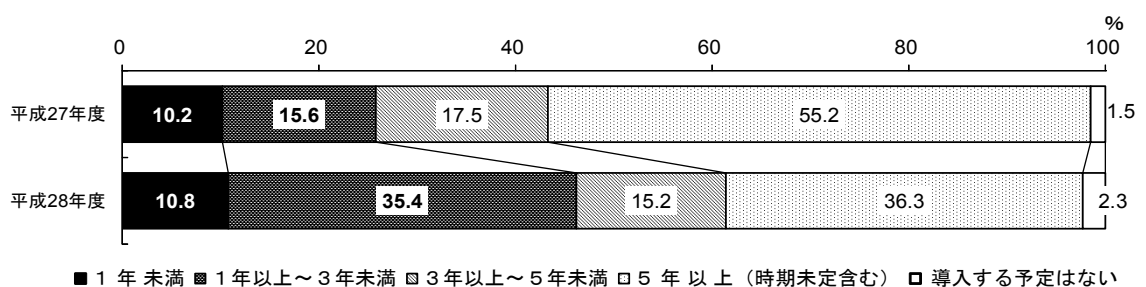
図1-4 HACCPの導入状況（輸出の状況別）



2. HACCPの導入予定時期

・「導入途中」又は「導入予定」と回答した企業のうち、導入を予定する時期をみると、「1年未満」と回答した者は10.8%で、平成27年度調査（10.2%）と比べ0.6ポイントの増加であったが、「1年以上3年未満」と回答した者は35.4%で、平成27年度調査（15.6%）と比べ19.8ポイントの増加となった（図2）。

図2 HACCPの導入時期（導入を予定する企業の導入終了予定までの時期）

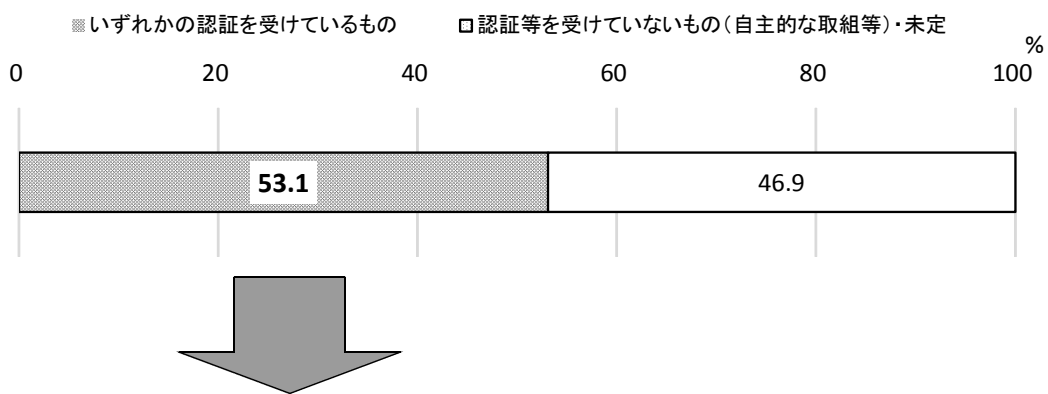


3. 導入しているHACCPの方式

- ・販売金額第1位の品目について、HACCPを導入していると回答した企業のうち、いずれかの認証を受けている旨の回答をした者は53.1%であった。受けている認証の種類は「地方公共団体によるHACCP認証」(18.4%)が最も多く、次いでISO22000(14.0%)、FSSC22000(9.2%)であった(図3-1)。
- ・また、今後導入を予定していると回答した企業のうち、いずれかの認証を受ける予定である旨の回答をした者は55.5%であった。受ける予定の認証等は「地方公共団体によるHACCP認証」(27.3%)が最も多く、次いで「業界団体によるHACCP認証」(8.5%)、「食品衛生法に基づく総合衛生管理製造過程承認制度」(7.9%)であった(図3-2)。

図3-1 導入済みのHACCPの方式

(「導入済み」と回答した企業の販売金額第1位の品目についての回答・n=309)



○受けている認証の種類 (複数回答)

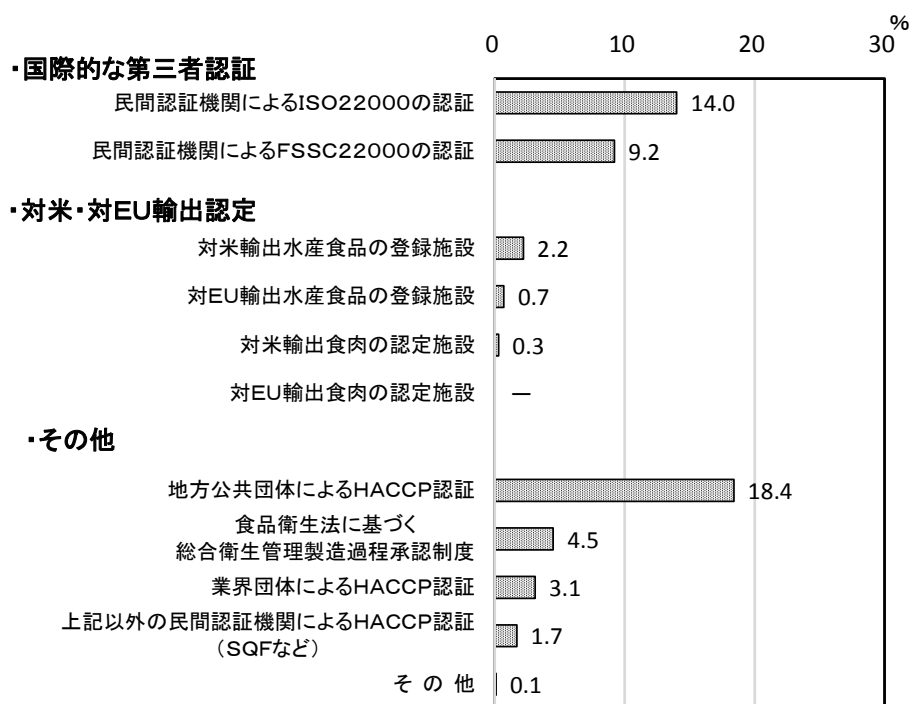
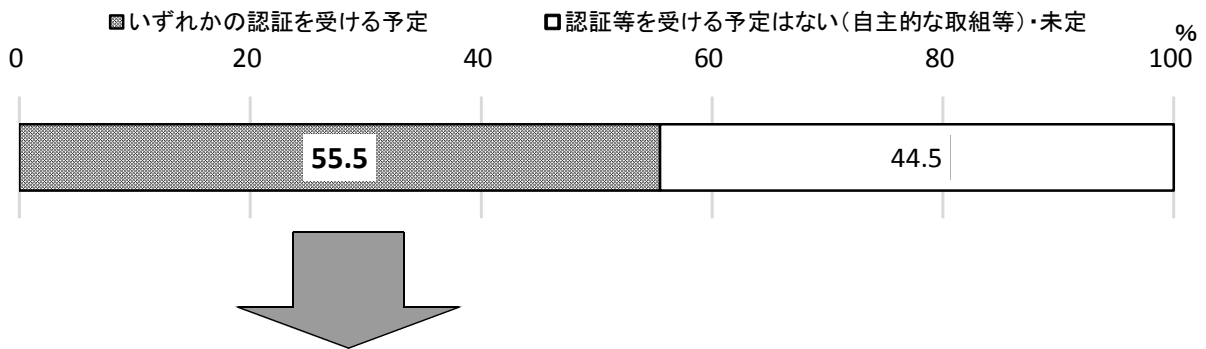
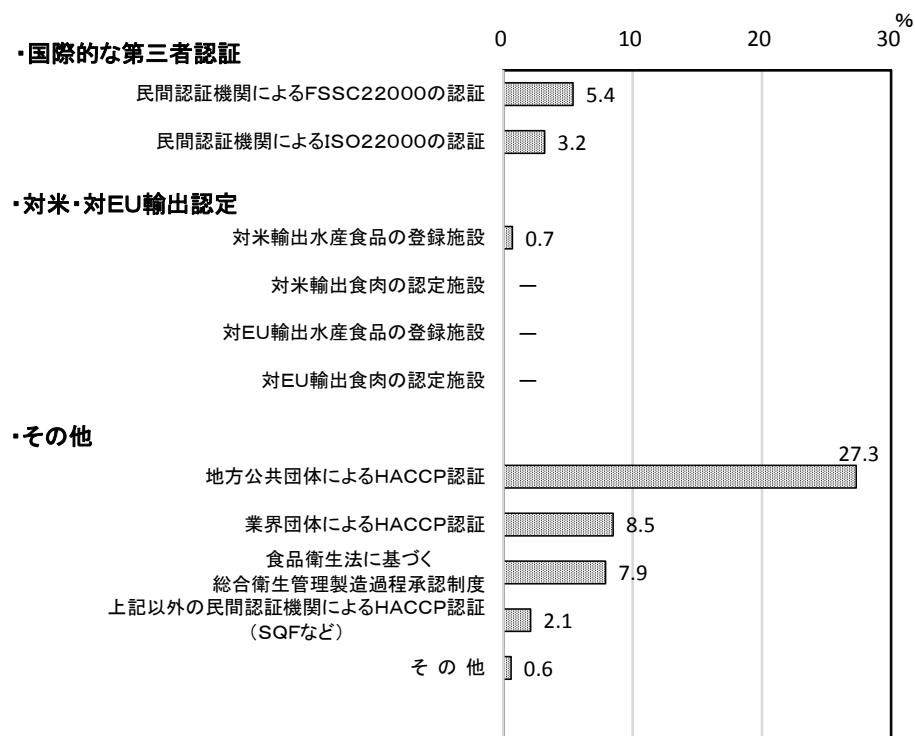


図 3 - 2 導入予定のHACCPの方式

(「導入予定」と回答した企業の販売金額第1位の品目についての回答・n=286)



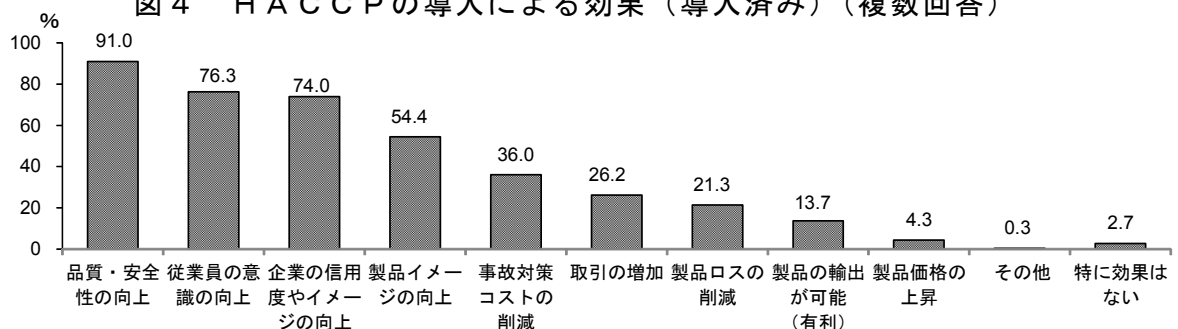
○受ける予定の認証の種類 (複数回答)



4. HACCPの導入による効果 (複数回答)

・「導入済み」、「導入途中」又は「導入を検討」と回答した企業における導入による効果をみると、「品質・安全性の向上」が91.0%と最も多く、次いで、「従業員の意識の向上」(76.3%)、「企業の信用度やイメージの向上」(74.0%)であった(図4)。

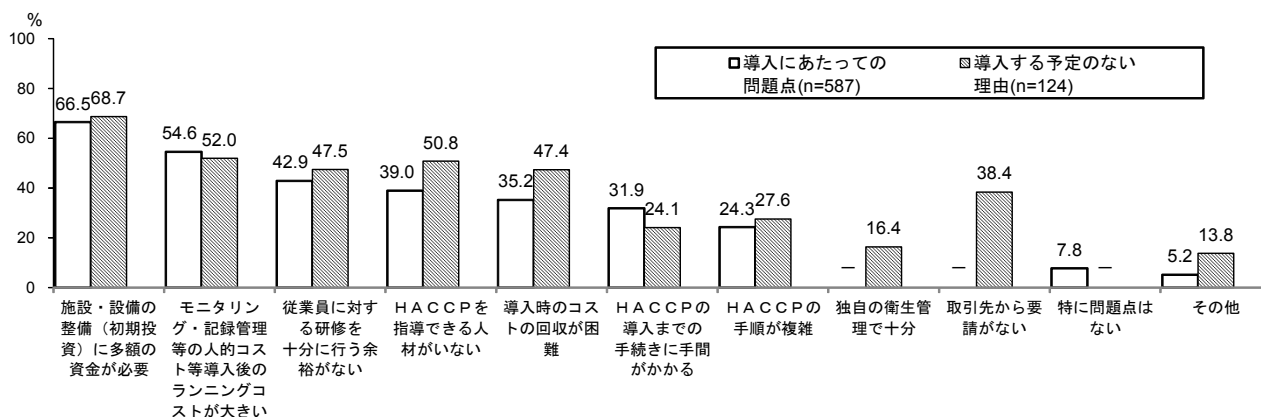
図 4 HACCPの導入による効果 (導入済み) (複数回答)



5. HACCPの導入に当たっての問題点・導入する予定のない理由（複数回答）

- ・「導入済み」、「導入途中」又は「導入を検討」と回答した企業におけるHACCPの導入に当たっての問題点をみると、「施設・設備の整備に多額の資金が必要」が66.5%と最も多く、次いで「導入後のランニングコストが大きい」（54.6%）、「従業員研修の余裕がない」（42.9%）であった。
- ・また、HACCPを導入する予定のない企業における「導入する予定のない理由」では、「施設・設備の整備に多額の資金が必要」（68.7%）、「導入後のランニングコストが大きい」（52.0%）の次に、「HACCPを指導できる人材がない」（50.8%）の回答が多かった（図5）。

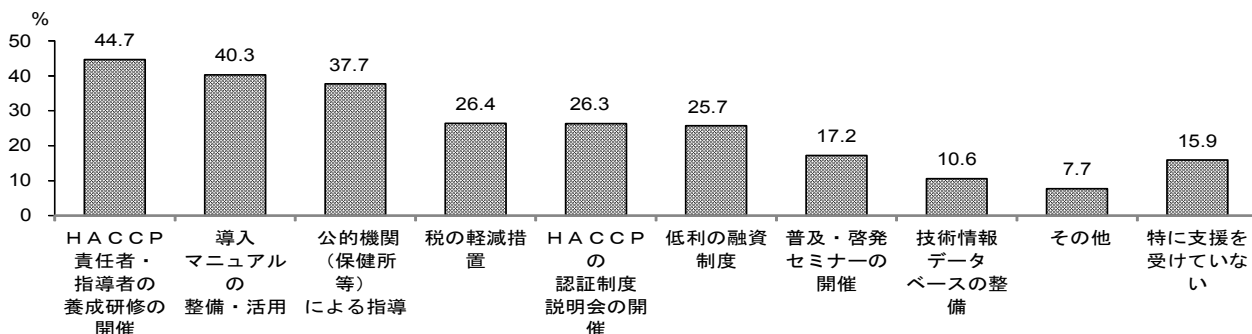
図5 HACCPの導入に当たっての問題点・導入する予定のない理由（複数回答）



6. HACCPの導入に当たって役立つ支援策（複数回答）

- ・「導入済み」、「導入途中」又は「導入を検討」と回答した企業における、HACCPの導入に当たって役立つ支援策をみると、「HACCP責任者・指導者の養成研修の開催」が44.7%と最も多く、次いで「導入マニュアルの整備・活用」（40.3%）、「公的機関（保健所等）による指導」（37.7%）であった（図6）。

図6 HACCPの導入に当たって役立つ支援策（複数回答・n=598）



当調査の統計表は、農林水産省統計部ホームページをご覧ください。
http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/syokuhin_doukou2/index.html

問い合わせ先
 農林水産省 食料産業局 食品製造課 食品企業行動室 品質管理普及班
 【代表電話】03(3502)8111(内線4164) 【直通】03(3502)5743